

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



## 四つのテスト

- 言行はこれに照らしてから
1. 真実か どうか
  2. みんなに公平か
  3. 好意と友情深めるか
  4. みんなのためになるか どうか

2013-2014年度 RI会長  
ロン D. バートン

次回例会予定 7月31日 会員卓話  
8月 7日

VOL. 51 No. 4(通算No. 2366)

2013年7月24日(水) 例会プログラム

点 鐘  
ロータリーソング  
ビジター紹介  
出席報告  
S A A 報告  
諸 報 告  
幹 事 報 告  
会 長 挨 拶  
研究会報告



写真提供:和久知寛様(古河市在住)

2013-2014年度 会長 熊谷 昇 幹事 染谷 秀雄

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



## 誕 生 祝



《会員》会員 山牟田 博会員

《ご夫人》北村(陽)会員

## 諸 報 告

2012-2013年度出席委員会 北村陽太郎前委員長

100%出席表彰・・・34名

クラブ例会100%出席・・・青木正弘直前会長、石塚克己直前幹事

## 幹 事 報 告

染谷秀雄幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

## 会 長 挨 拶

熊谷 昇会長



ご挨拶申し上げます。

今週は暑さも少し和らぎ、過ごしやすそうな日が続きそうですが、これからが夏本番ですので、熱中症等にご注意いただきたいと思います。

先週末の7月13日・14日は、水海道祇園祭が開催されました。普段はたいへん静かな水海道中心市街地にも露店がたくさんでて、町内会の持つ神輿と同好会の神輿 10 基と各町内の山車 9 台が市内に繰り出しお祭りを盛り上げていました。常総市民はもちろんですが、近隣の町の神輿同好会の人たちや全国から観光にこられた方々がお祭りに参加し楽しんでおりました。

ブラジル人の方もたくさんいて、中心市街地は多国籍な雰囲気いっぱい、以前訪れたタイのパッポン通りさながらの熱気にあふれていました。

水海道祇園祭はいつごろから今のような形になったのかは分かりませんが、これからもできるだけ長く続いてほしいものだと思います。

常総市観光物産協会の HP には水海道祇園祭の歴史について書かれておりましたので、少しご紹介を致します。詳しくは週報に記載しますのでお読みいただければと思います。

### 水海道祇園祭

約 700 年位前に、小山戸町の鬼怒川の岸辺に小山戸天王という社がありました。(現在 356 号線バイパス有料橋付近)この小山戸天王で古い時代に神輿が担がれていたという伝えがあります。それに対抗して、しばらく後の時代になって森下町でも神輿を担ぐようになったということです。八幡神社は、江戸時代の始め頃

(延宝 1677 年)実城(みじょう)より現在の地に建てられました。そのころ森下町には、福聚院(ふくじゅいん 現在森下観音)という大きな真言宗の寺がありました。その寺の一角に八坂神社がありました。この八坂神社は古くは牛頭天王社と呼ばれており、森下を中心に神輿が担がれていたと思われます。

現在の本社神輿は、安政 4 年(1858 年)、町の大商人何人かが先駆けとなり資金を調達して購入しました。祇園祭は、もともと京都の八坂神社のスサノ尊を祀ったお祭で、方位払いの四神圈など京風なものが取り入れられています。獅子、四神圈、宝剣、太鼓は本社神輿を担ぐ順番に従い町ごとに務めます。本社神輿の輪番は元町・本町・栄町・宝町・諏訪町・橋本町・湊頭町の七町ですが、祇園祭に繰り出される神輿や山車は旧水海道町内会 11 町でとり行われているほか、同好会の神輿なども合わせ、近隣にはない盛大な祭りとなっています。

初日は本殿から神様を神輿に移す「宮出し」から渡御を行い、末日は当番町のお仮屋で祝詞をあげ神様に報告をします。町内会の持つ神輿と同好会の神輿等神輿 10 基と山車 9 台が祭りを盛り上げます。中でも、神様がお乗りになっている本社神輿には格別の権威があるといえるでしょう。本来、神輿渡御は日中の明るい時間に町の中をお払いして歩くものですが、現在のまつりで最も賑わうのは、夜の突き合わせの時間となっています。  
(常総市観光物産 HP より)

さて、きょうは RI のテーマについてあらためてお話しいたします。

今年度のテーマは「ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生」です。

ロン D パートン会長は会員の皆さんに呼びかけをしています。

「私たちは皆、世界をより良くする活動に自ら参加するために、ロータリーに入会しました。人生におけるあらゆる物事と同じように、ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。形だけの努力だけなら、大した成果は上がりませんし、本当の満足は得られないでしょう。しかし、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々生かす決意をすれば、自分がいかに素晴らしい影響をもたらすことができるかが見えてくるでしょう。そうして初めて、人々の人生を真に豊かにしようというインスピレーション、やる気、パワーが沸くのです。そして、何よりもあなた自身の人生が豊かになるはずです。」と

RI テーマについては青木前会長も昨年触れていたように、手続要覧に「RI テーマは、使用すべき唯一のテーマであって、ほかのテーマの使用は控えなければならない、ということに RI 地区とクラブの全役員の注意を喚起する(ロータリー章典 27.050)」との記載があります。

私も以前、会長エレクト会議の際に RI のテーマについて地区ではどのような考え方をお持ちなのかお聞きしましたが、明確な返答はされませんでした。地区テーマを掲げることは手続要覧とは別に、ガバナー個人によるところが大きいというようなお答えをカウンセラーの片岡パストガバナーよりいただいたように記憶しています。テーマあるいは方針を作ることがおかしいわけではありませんが、RI テーマに対する考え方の整理が必要だと感じています。

本日も先週に引き続き今年度事業計画の発表をお願いしています。

また、今日は、18時より糺屋さんにてパスト会長の集りを予定しておりますので、パスト会長さんにはご出席をよろしくお願ひいたします。挨拶を終わります。

## 2013-2014年度 事業計画

### 職業分類委員会 長塚 暁委員長



会員増強委員会、会員選考委員会と密に連携しながら、会員増強に努めたいと思います。

#### ロータリー情報委員会 山崎善市副委員長



1. 会員にあらゆるレベルのロータリーの歴史、綱領、活動に関する情報を提供する。
2. 入会5年以内の会員に対し、会長・幹事とロータリー情報委員会、親睦委員会などで集会を開き、ロータリーへの理解と親睦を深めてもらう。

#### プログラム委員会 鈴木勝久委員長



プログラム委員会は、会長のワンポイントメッセージに沿って卓話の立案を中心に、会員の皆様に有意義な例会となるよう企画運営をしていきます。  
特に会員卓話については、5分程度の「ミニ卓話」として、全会員の方をお願いしたいと思っています。  
また外部卓話については、会員の方に有意義な内容を移動例会として、数回実施したいと思っています。

会員の皆様には会員卓話、また外部卓話のご紹介を含め、例会の進行にご協力お願いいたします。1年間よろしくお願いいたします。

#### 会報委員会 五木田利明委員長



当委員会は週報の発刊により例会の記録保存と会員の皆様に情報伝達を行い、会員相互の調整を図り各委員会の活動状況を報告します。運営にあたり以下のことに注意して活動致します。

1. 毎週例会の記録を正確に保存し、会員及び他クラブへの情報交換に努めます。
2. 各委員会と連絡を取り活動状況の報告、次週の例会プログラムを予告し、出席率を高めていきたい。
3. 紙面の工夫を図り、興味を注げるよう配慮し、会員の皆様よりの写真、例会風景の写真などを掲載していきたいと考えています。

#### 雑誌委員会 北村陽太郎副委員長



「ロータリーの友」は、機関紙として、RIの公式行事や指定された記事、ロータリー一月間に関する記事、国内のロータリー情報や会員相互の意見交換など、国内外のロータリー情報が掲載され、ロータリアンの情報発信の場となっておりますが、実際にはあまり読まれる事なく終わってしまうのが現状です。

委員会としては、会員の皆様に雑誌の内容を紹介し、「ロータリーの友」が愛読される一助したいと思います。また、ロータリークラブの広報の一環として公共施設等への配布に努めたいと思います。

#### 社会奉仕委員会 山牟田 博委員長



社会奉仕委員会は、地域社会の啓発事業を主として行ない、地域の活性化、住みよい街づくり、環境問題に対する取り組みを、ロータリーの精神の下に地域の人々と共に進めて参ります。そしてこの街にロータリーが存在する事の意義の啓蒙活動を行って参ります。

1. グランドゴルフ大会(常総・つくばみらい地区)への協力支援を行います。
2. 市民文化祭でのバザーにご協力頂き出品します。

3. 赤い羽根募金を社会福祉に役立てるための協力をお願いしてまいります。
4. 地域社会で隠れた奉仕活動をしている方々への協力及び支援活動

#### 国際奉仕委員会 石塚利明委員長



当委員会は、本年度もツウンバ交換学生の事業を中心に活動していきます。

1. ツウンバRCへの短期交換学生の派遣
2. ツウンバRCからの短期交換学生の受入
3. 地区国際奉仕委員会の海外奉仕プロジェクトへの参加協力の検討

#### 青少年奉仕委員会 二本松恭行委員長



1. ライラセミナーへの参加

ネーブルパーク研修センター「平成館」にて平成25年10月19日・20日

2. クラブ創立50周年記念事業のタイムカプセル埋設が常総市新庁舎完成後予定しております。

#### ロータリー財団 白井 豊委員長



ロータリー財団は、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられました。本会は主としてロータリー所在国からの外国人留学生に対して奨学金を支給し、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的としています。

これらの諸活動を行う費用を支えるのが財団の資金です。従って財団の目的を理解して頂き、募金目標達成に会員各位にご協力をお願いします。

1. 1人130ドルの寄付金(クラブ目標1万ドル)
2. ポリオプラス基金へ20ドルの寄付金

3. 新たなベネファクターの誕生

#### 米山記念奨学会 青木正弘副委員長



この委員会につきましては、米山記念奨学事業の意義の修得に努め、米山関係行事の参加と、奨学生と会員の交流が深められるよう、努力していきたいと思っております。会員の皆様の温かいご協力をお願い致します。

1. 会員事業への理解を促すため、米山月間(10月)などに、関係プログラム(本年度当クラブ奨学生 徐 佳鋭さんの卓話等)をお願いしたいと思います。

2. 本年度も、会員一人金20,000円以上の米山特別寄付金を、全会員の皆様のご協力を頂けますよう努力致します。

3. 未来に向かって平和の架け橋をかける奉仕活動に、米山功労賞を働きかける。

出席報告 石井康弘委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク	出席率
54名	37名	17名	0名	17名	100.00%

ニコニコボックス 倉持功典委員長 入金計 ¥86,000 累計 ¥267,000

誕生祝御礼《会員》山牟田会員

本日は、会長経験者の集いを予定しています。宜しくお願ひ致します。 熊谷会員

涼しくて汗疹が楽になりました。 山野井会員

2012-2013年度100%例会出席表彰 青木(清)・青木(正)・秋田・荒井・飯塚・石井・小島・北村(仁)

北村(英)・熊谷・倉持・五木田(利)・五木田(益)・五木田(裕)・白井・鈴木(邦)・鈴木(勝)・隅屋・染谷(秀)・

高須・登坂・長塚・松村・武藤・山崎・ 各会員

例会欠席しました。 石塚(利)・福田 各会員

会報委員会 五木田利明委員長 青木清人副委員長

ロータリーとゲイツ財団がポリオ撲滅のパートナーシップを拡大



最高 5 億 2,500 万ドルの資金確保に向けて

リスボン、ポルトガル(2013年6月25日): 社会奉仕活動に携わる国際ロータリー(本部:米国エバンストン、会長:田中作次)とビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団はこの度、ポリオ(小児まひ)の撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新たなパートナーシップは、今後5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せするというものです(対象となる寄付額は各年3,500万ドルまで)。このパートナーシップを通じて、最高総額5億2,500万ドル(525億円)の資金を確保できる可能性があり、達成間近にあるポリオ撲滅活動の大きな後押しとなることが期待されます。

このニュースは、リスボンで開催中のロータリー国際大会にて、160カ国から2万人以上のロータリー会員が集まる中、発表されました。ゲイツ財団CEOのジェフ・レイクス氏は発表に際してビデオメッセージを寄せ、ロータリーのこれまでの貢献を称え、ともにポリオを撲滅して世界の保健衛生の新たな1ページを築こうと、参加者に呼びかけました。国際大会の会場では早くも、ナイジェリアのロータリー・クラブ会員であるエメカ・オフォールさんがポリオ撲滅のために100万ドルの寄付を誓約し、ゲイツ財団からの上乗せ対象となる最初の寄付が行われました。

ロータリーがこれまで20年以上にわたるポリオ撲滅活動で寄付した資金の総額は、12億ドル(1,200億円)に上ります。2007年からはゲイツ財団とも協力して資金確保に努めており、ゲイツ財団からの3億5,500万ドルに対して、ロータリーは2012年に2億ドルを上乗せ寄付しました。この上乗せ寄付は当初の予定よりも6カ月早く集めることができたため、その意欲を称えて、ゲイツ財団はさらに5,000万ドルを寄付しました。寄付金はすべて、ポリオ感染国での予防接種活動のために活用されます。2013年4月の世界ワクチンサミットでは、ポリオ撲滅活動が最終局面にあるとして、6年間にわたる包括的な撲滅計画が打ち立てられましたが、2018年までの活動資金としてまだ15億ドルが不足しています。ロータリーのポリオ撲滅活動を率いるジョン・ジャーム氏(ロータリー元副会長)も、今こそ最後の一押しでポリオ撲滅の仕事を終える重要性を訴えます。「私たちには強力な活動プランがあり、すべての子どもたちに予防接種を提供する手段を持っています。あとは資金不足を埋められれば、ポリオという恐ろしい病を撲滅できるはずです。ロータリーとパートナー団体は、ポリオのない世界を実現するまで、活動に全力を尽くします」